



赤い果実がつく。



葉は対生する。



大きな鋸歯がある。

区別のポイント

茎は緑色で節がある。葉は対生で大きな鋸歯がある。

形態 常緑小低木。高さ 50 ～ 100 cm。

分布 本州（東海地方・紀伊半島）・四国・九州・沖縄

名前の由来 庭木で使われ赤い実がたくさん付くため、めでたい木として千両・万両・アリドオシなど他の赤い実のなる樹種とともに植えられることから。

葉 〈全体〉長楕円形から卵状楕円形で長さ 10 ～ 15 cm。

〈付き方〉対生。 〈葉柄〉0.5 ～ 2 cm。

〈基部〉くさび形。

〈葉先〉鋭尖頭。

〈縁〉鋭鋸歯。

備考

出典 1 4